

将来ごみ発生量及び処理規模について

1 施設の処理規模設定の流れ

施設の処理規模の設定の流れを図2-3-1に示します。

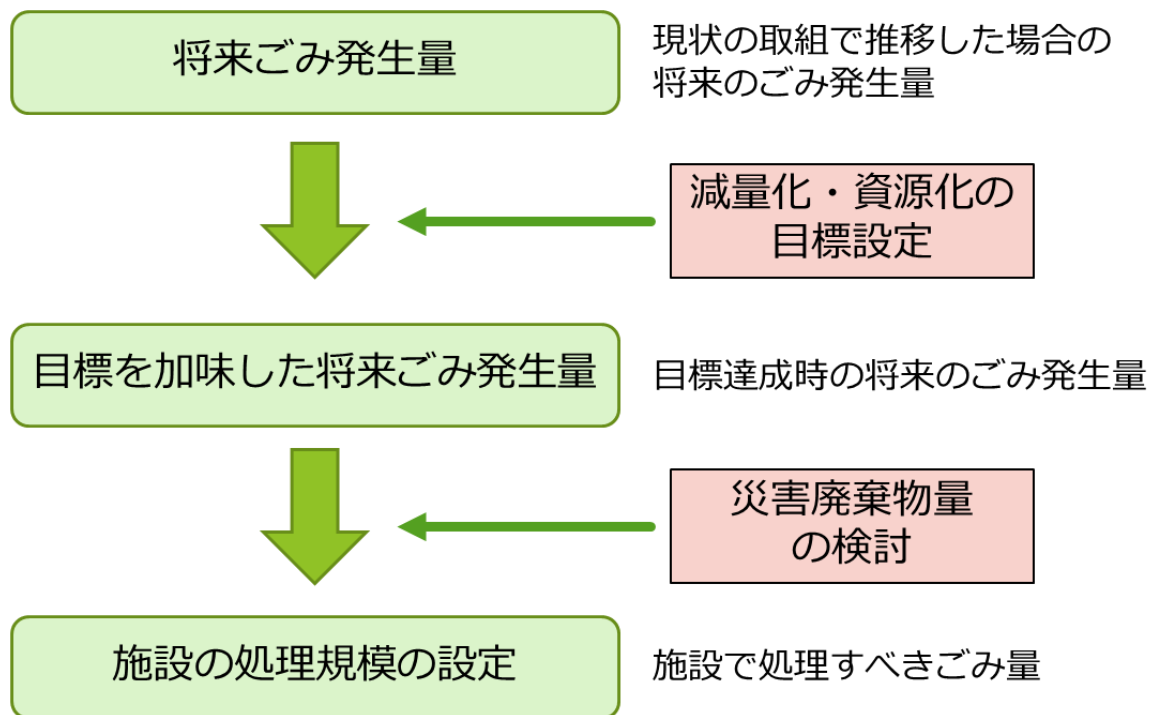


図 2-3-1 施設の処理規模設定の流れ

2 将来ごみ発生量の推計方法

将来ごみ発生量の推計方法を次ページの図 2-3-2 に示します。

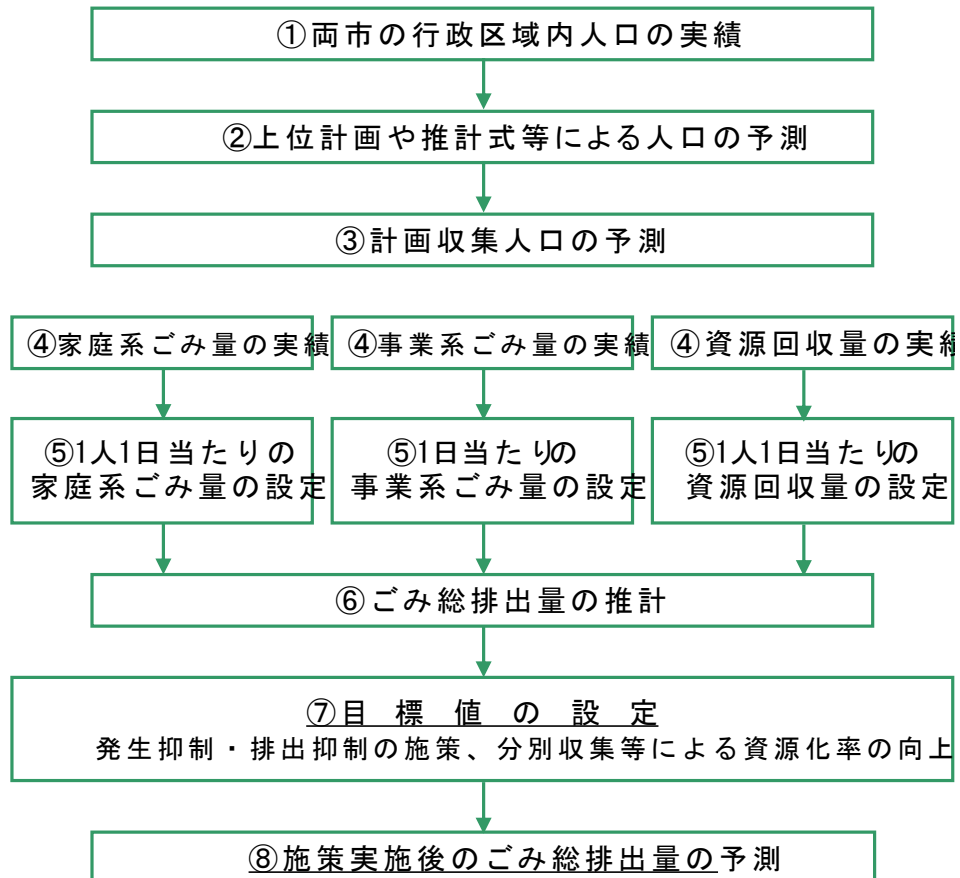


図 2-3-2 推計方法

- ① 東海市及び知多市の行政区域内人口の実績を整理します。
- ② 両市における最新の人口推計を基に、将来の人口を予測します。
- ③ 将来の人口の予測を基に、計画収集人口を予測します。
- ④ 家庭系ごみ量、事業系ごみ量及び資源回収量の過去5年間の実績を整理します。
- ⑤ ④の傾向を踏まえ、将来の1人1日当たりの家庭系ごみ量、1日当たりの事業系ごみ量、1人1日当たりの資源回収量について、予測式を用いて設定します。
- ⑥ 設定した1人1日当たりの家庭系ごみ量に、③の計画収集人口をかけて家庭系ごみの年間排出量を算出します。また、設定した1日当たりの事業系ごみ量から年間排出量を算出します。資源回収量は家庭系ごみ量

と同様に、1人1日当たりの資源回収量に、③の計画収集人口をかけて算出します。

- ⑦ 国や県の目標を踏まえ、既存の施策と新たな施策を検討し、削減に関する目標値を設定します。
- ⑧ 削減に関する目標値の設定に合わせて、ごみ排出量等を算出するとともに、処理の内訳等を算出します。

3 推計結果

両市合算の1人1日当たりのごみ（資源を含む）排出量の推計結果を図2-3-3に示します。

なお、推計に用いた人口については、現在、両市で最新の人口ビジョンを検討しているため、今後、変更する可能性があります。

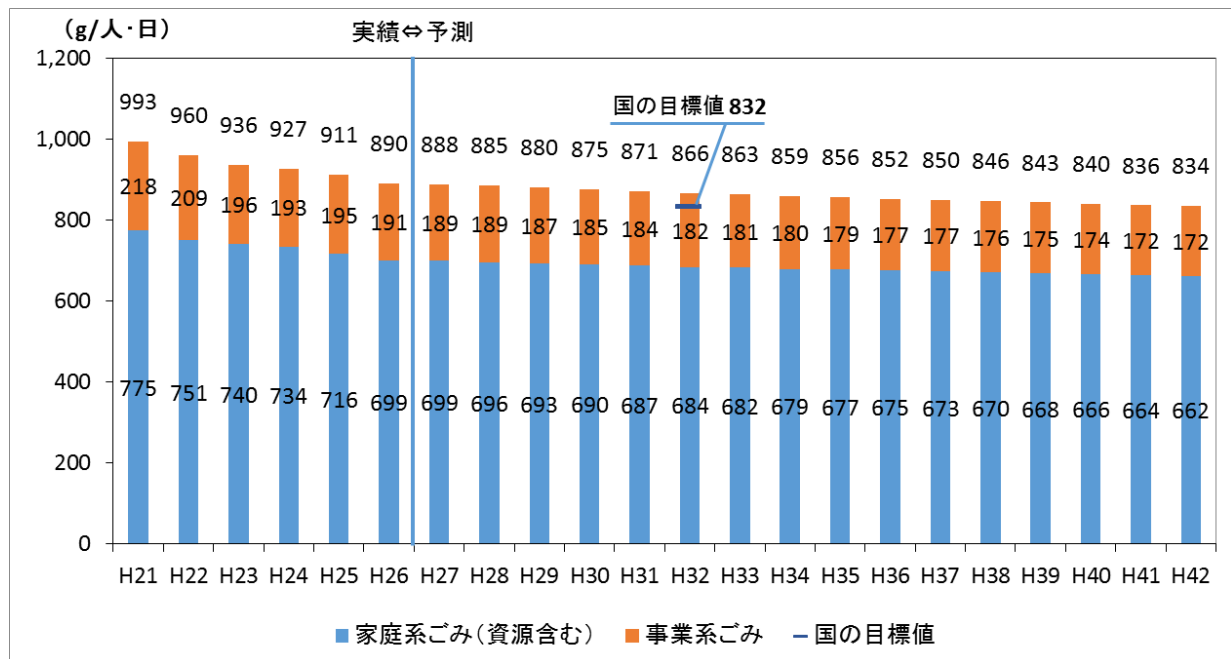


図 2-3-3 1人1日当たりのごみ（資源を含む）排出量の推計結果（両市合算）